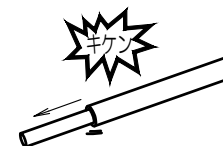


※作業前に所定の材料部材がそろっているか確認してください。

△ 注意

1. プラ擬木は重量物です。転倒や落下にご注意ください。
2. 擬木を傾けると中の鋼管が抜け落ちる場合があります。持ち運ぶ際には傾けないで下さい。
3. 擬木は温度変化によって伸縮します。
早朝は5~10mm短くなる場合がありますし、直射日光に当たりますと5~15mm伸びることがあります。
施工直前までブルーシートを掛ける等、直射日光に当たらないようにして下さい。



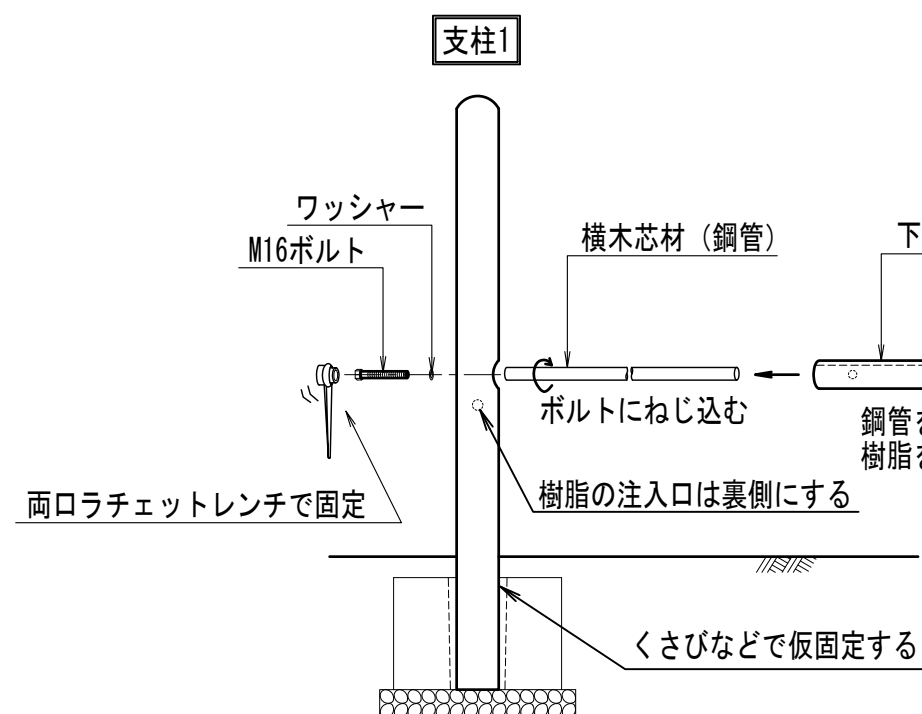
準備工具類

1. 24mm 両口ラチェットレンチ
2. ハンマー・カケヤ
3. 24mmスパナ
4. コーキングガン

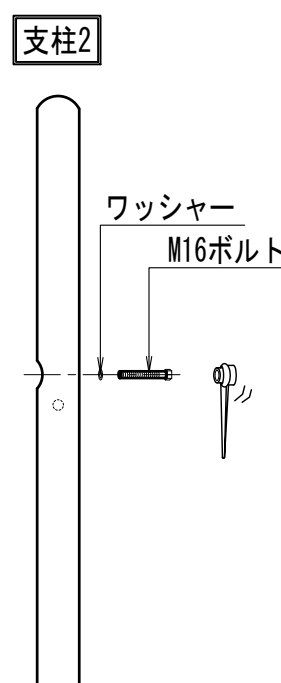
■ 施工方法

- ① 案内板を据える表方向を確認し、樹脂の注入口が裏側になるように支柱1を建てます。
その際、支柱が垂直になっていることを確認し、コンクリート面にくさびなどを入れ、ぐらつかないよう仮固定してください。
- ② 下横木と支柱1を固定します。
まず、横木の内径の大きい側より樹脂から芯材（鋼管）を抜き出します。
図1のようにボルトをワッシャー・支柱に通し、抜き出した芯材のリングナット部にねじ込み、両口ラチェットレンチで締め付けます。
下横木樹脂の溝切り部を板面側に向けて鋼管に差し込み、支柱のザグリ孔に合わせます。
- ③ もう一方の支柱2と下横木を固定します。
①と同様に支柱の向きを確認し、図2のように下横木芯材のリングナットをM16ボルトで固定します。
このとき、下横木の溝切と支柱の溝切の位置をしっかりと合わせます。
- ④ 板面（別途手配）と上横木を取り付けます。
図3のように支柱1と2の溝切部に板面を通します。
上横木の溝切部を下側にして板面に被せ、M16ボルトで支柱のリングナット部に固定します。

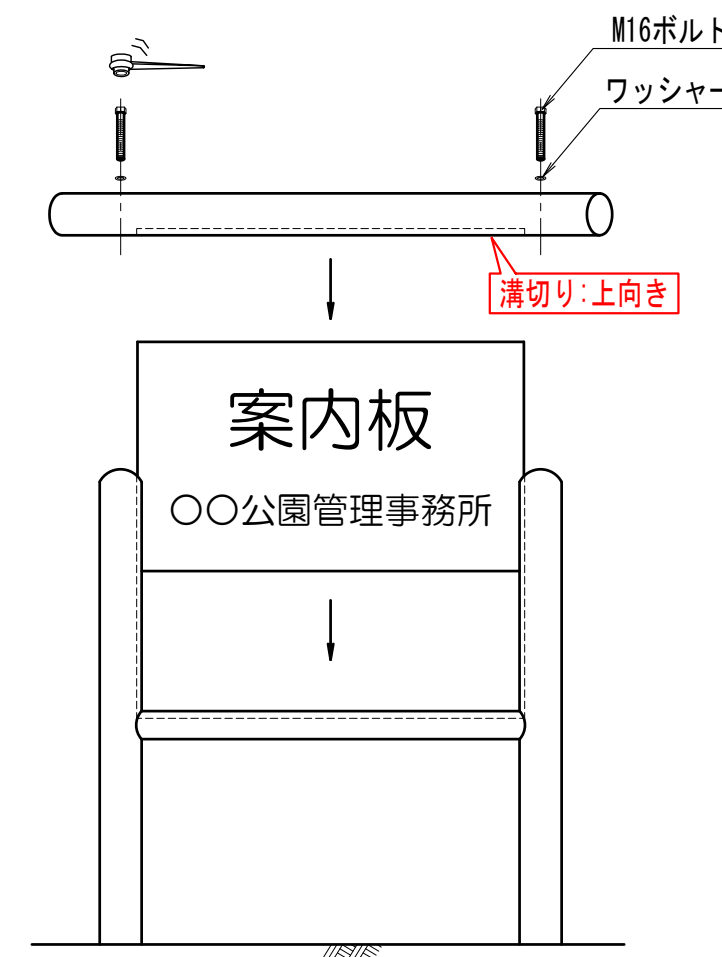
【図1】



【図2】

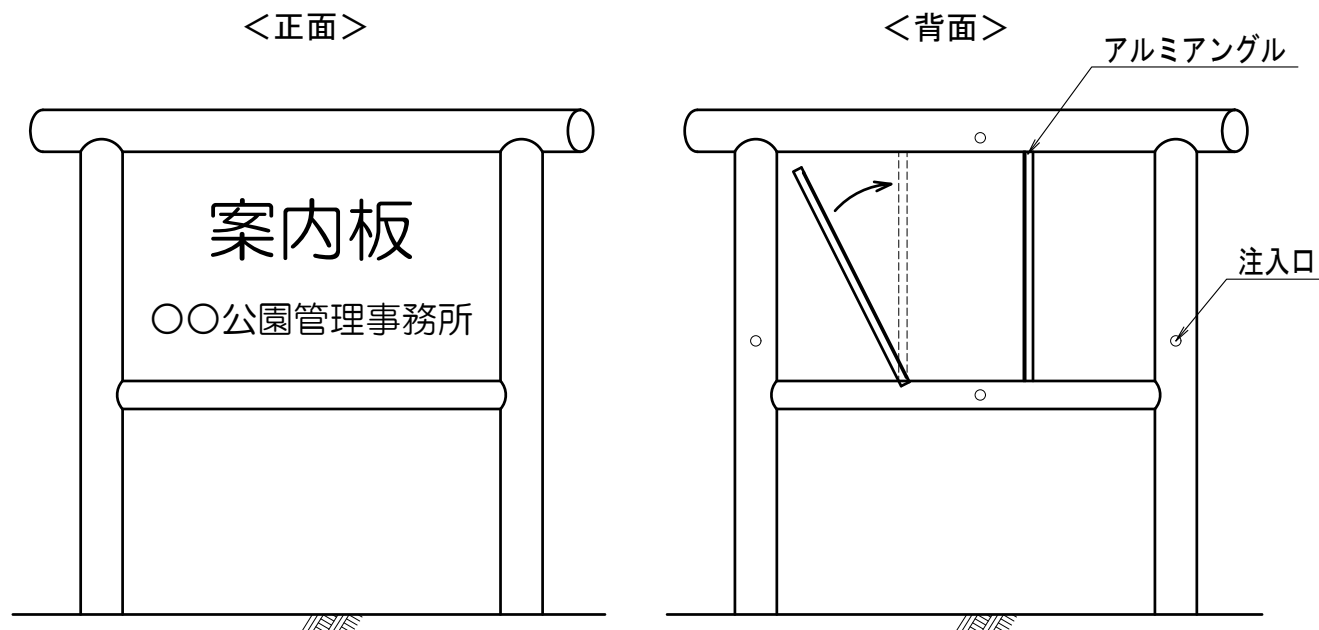


【図3】



案内板 (PA-I-2) 施工の手順-2

- ⑤ 案内板の背面側にアルミアングルを2本取り付けます。
 その際、アングルを斜めにし、下横木の溝切部に先端部を差し込み、持ち上げるようにして上横木の溝切部にもう一方の先端部を差し込みます。【参考2・3】

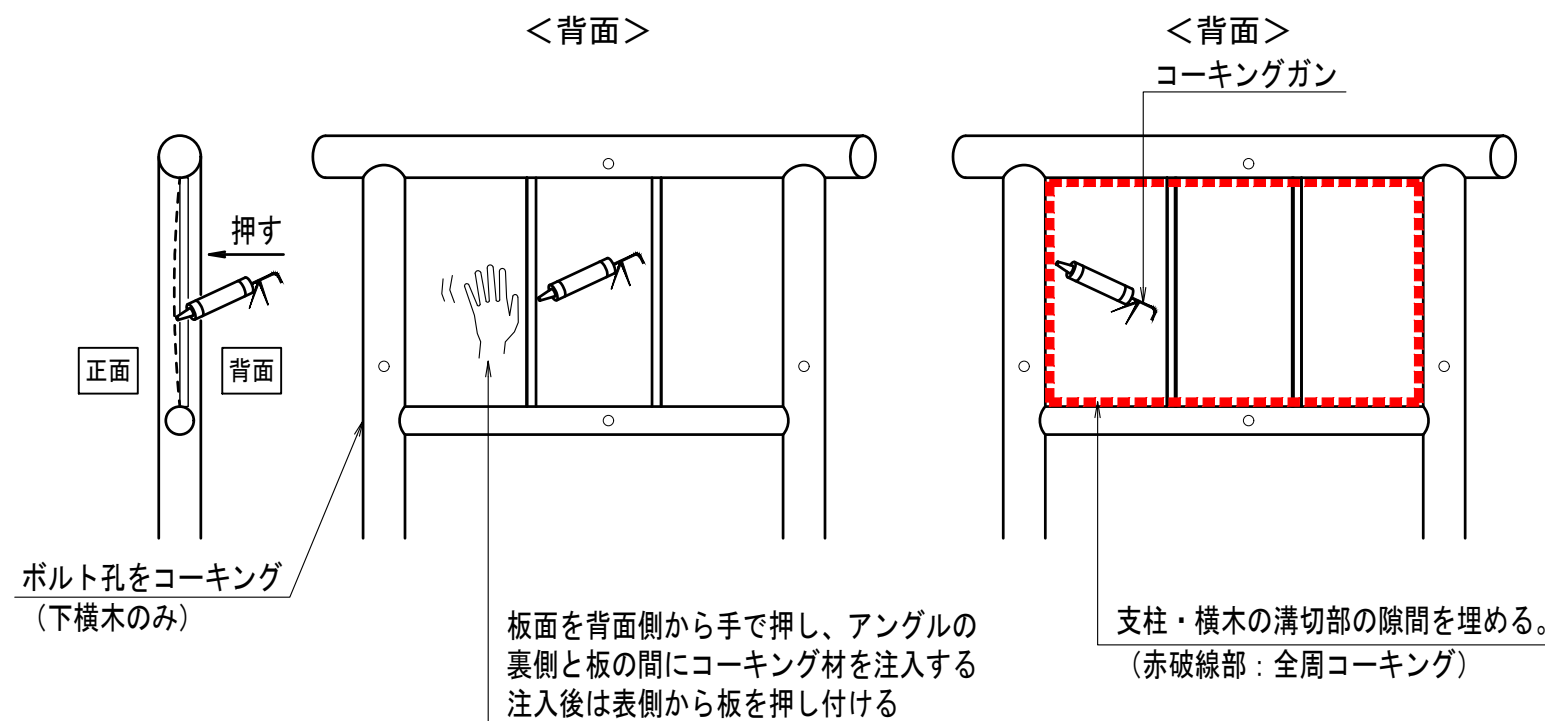


【参考2】アルミアングル取付
横木溝切部に差し込む



【参考3】アルミアングル取付
アングルが2本背合わせになるよう取付ける

- ⑥ 仕上げに、板面裏側外周の隙間【参考4】、アングルと板面の間、ボルト孔をコーキングで埋めます。



<コーキング材>



【参考4】コーキング例

- ⑥ 完成

